

楽しく美しい まちづくり通信...⑦①

聞いて、見て、歩いて

…そして伝えたい

んからのあいさつの後、早速スタート。

最初の目的地は目の前の「鳳林寺」。山門への石段を登ると、左手足元に「庚申・二十三夜」の碑があることに気付く。担当者から碑の由来についての説明を聞くもの、はじめてその存在に気付く方の多さに驚く。

「大切な話は庚申の夜に…」という諺があるように、江戸時代の人々が眠らずに夜明けを待ったという言い伝えに、「お寺さんの入り口で酒盛りでもしたのかしら」との声。

日常会話でも使う「虫が知らせる」、「腹の虫の居所が悪い」という場合の「虫」が三戸であり、三戸による天帝への密告を防ぐため夜を徹して世間話に費やした往時の人々の信心の強さがしのばれる。

次に、宝篋印塔が八基集まった「ダンヌ」を訪れるが、学級生の大半が初めて見るらしく、「こんな近くに歴史に関わる貴重な『宝』があることを知りまし

た」とのこと。誰となく草むしりを始めると、傍らでは手を合わせる人の姿も。

その後、安比上野にある「追分石」を経て、足沢の「清光寺大銀杏」を見学、そして昼食。普段の家事仕事から開放された爽快さも手伝ってか、あちこちで話の輪ができる。

異口同音に語られるのは、歩いてみて初めて貴重な「宝」に気付いたこと。そして、誰かに教えてあげたくなったこと。

「宝さがし」の意義も実はそこにあり、地元の皆さまが知らなかったことを発見したり、価値のあるものが身近にあることを認識したりすること。そして、その貴重な経験をとおして「地元」を理解し、地域に、そして二戸市に誇りを

持つこと。

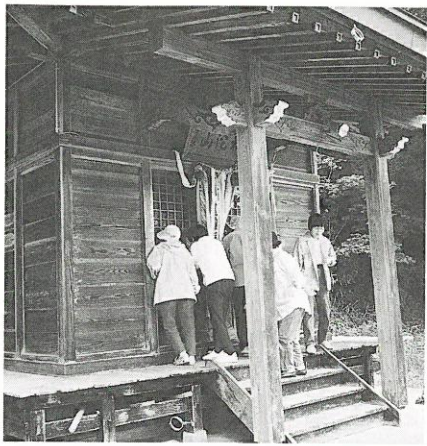
午後からは、「庵寺」「高清水稲荷神社」を見学し、「山田の長者伝説」に耳を傾けながら、最終地の小池の「カツラ」に到着。自然が語る存在感の大きさは、説明者の言葉が不要なことを実感する。

いつ、誰が植えたかは伝説でしか分からぬが、後世の人間を感動させるにはその幹回りは十分である。

百年後、二百年後の人々も目にできるかどうか。ただ、手前に置かれた祠は、年月とともにその存在を畏敬の対象へと変化させていったことを証明している。

地元の「宝」を学びました。(清光寺の大銀杏前で記念撮影)

つたない説明を学級生に詫びて「名所・旧跡めぐり」を終えるが、一つのゾーンを回るには一日では足らぬほど、御返地も「宝」が豊富な地域である。そして、マップを片手に家族で「宝」を巡るのもお父さんの手頃な家族サービスカと実感した。



中はどうなっているのかな? (安比の庵寺にて)



地元の「宝」を学びました。(清光寺の大銀杏前で記念撮影)

つたない説明を学級生に詫びて「名所・旧跡めぐり」を終えるが、一つのゾーンを回るには一日では足らぬほど、御返地も「宝」が豊富な地域である。そして、マップを片手に家族で「宝」を巡るのもお父さんの手頃な家族サービスカと実感した。

こよみ



★7月★

- 11日(日)
 - 12日(月)
 - 13日(火) 離乳食セミナー・中期(市保健センター)
 - 14日(水) 検疫記念日
 - 15日(木) 法律相談(相談室)
 - 16日(金)
 - 17日(土) 勤労青少年の日
 - 18日(日)
 - 19日(月)
 - 20日(火) 海の日、土用
 - 21日(水) 自然公園の日
 - 22日(木)
 - 23日(金) 大暑(二四節気)
 - 24日(土)
 - 25日(日)
 - 26日(月)
 - 27日(火) 1歳6か月健康診査
- 離乳食セミナー・後期、親子
ブラッシング教室(市保健センター)

7月11日～8月10日